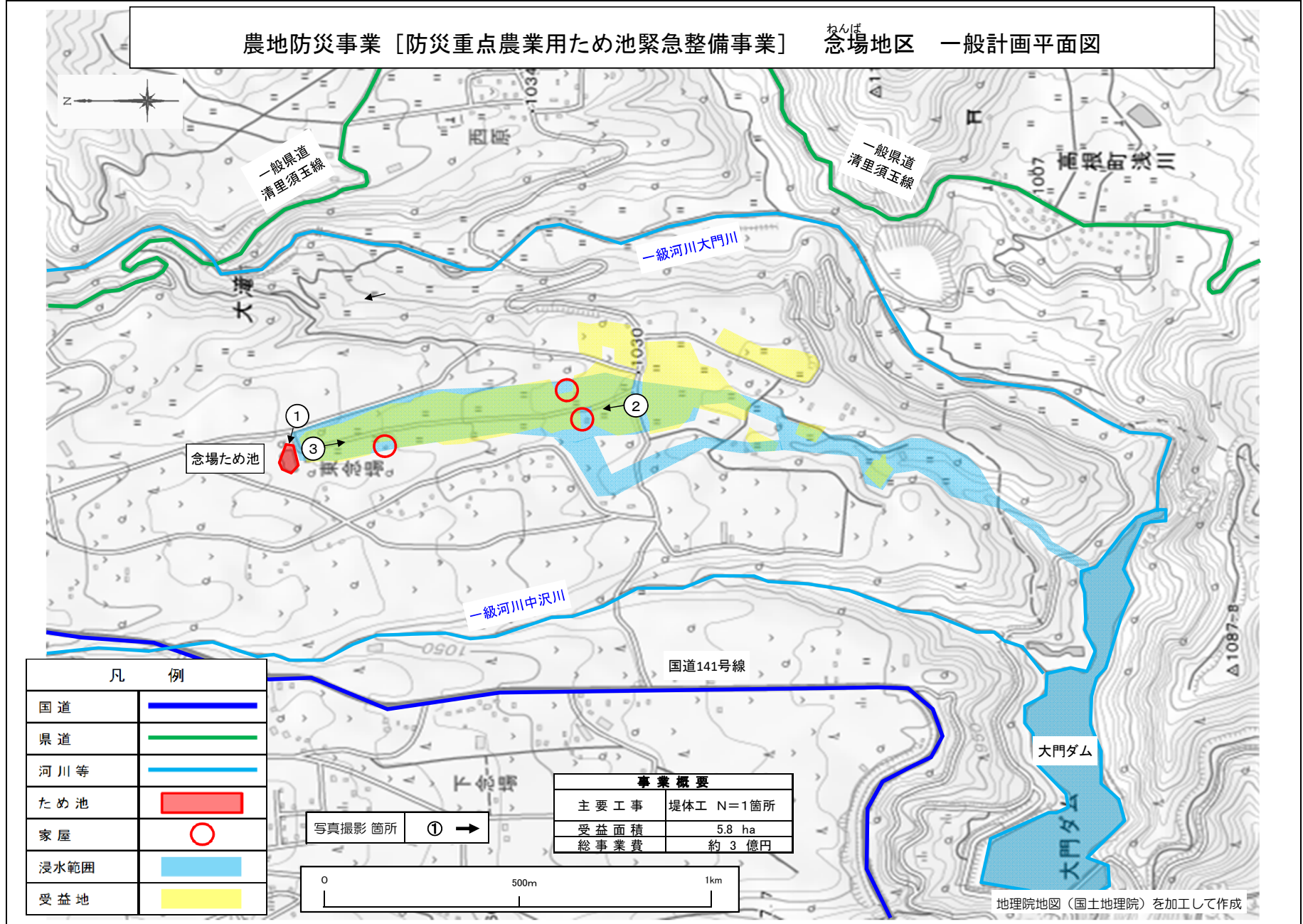


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	農地防災事業 [防災重点農業用ため池緊急整備事業 (国補)]	<b>事業箇所</b>	北杜市高根町清里	<b>地区名</b>	おんぼ急場	<b>事業主体</b>	山梨県
<b>(1) 事業の概要</b> <b>①課題・背景</b> 本ため池は北杜市北部に位置し、稲作が盛んな本地域の水田用水を確保するための重要な農業用施設である。 一方で、本ため池は築造から70年以上が経過しており、機能診断の結果、堤体が地震発生時における所定の基準を満たしておらず、また堤体の余裕高が不足していることが判明した。 ため池の下流域には人家等があり、大規模な地震または豪雨により決壊した場合、甚大な被害を及ぼすおそれがあるため、早期に防災工事を実施し、住環境の安全、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るものである。				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>			
				<b>②整備目標・効果</b> <input type="checkbox"/> 主要目標 <input checked="" type="checkbox"/> 洪水被害危険度の軽減 ・ため池決壊の構造的危険度 70点 $\geq$ 67点※ ・ため池決壊に伴う下流域への影響度 11点 $\geq$ 9点※ <input type="checkbox"/> 副次目標 <input checked="" type="checkbox"/> 農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 (使用年数79年) $\div$ (耐用年数40年) = 1.98 $\geq$ 1.00※ ・用排水能力向上率 (計画排水能力0.93m <sup>3</sup> /s) $\div$ (現況排水能力0.93m <sup>3</sup> /s) = 1.00 $\geq$ 1.0※ (※評価基準値) <input type="checkbox"/> 副次効果 <input checked="" type="checkbox"/> 農地の保全 (農地の埋没の恐れあり) <input checked="" type="checkbox"/> 既存施設の崩壊危険性の排除 (主体構造物である)			
<b>(2) 整備内容</b> <b>①整備内容</b> 堤体工 N=1箇所 <b>②着手年度</b> 令和6年度 <b>③完成見込年度</b> 令和9年度 <b>④総事業費</b> 約300百万円 (国費165百万円(5.5/10) 県費102百万円(3.4/10) 市費33百万円(1.1/10))  <b>⑤年度別の整備内容</b> (事業費) 令和6年度 測量・地質調査・設計 30 百万円 令和7年度 堤体工 125 百万円 令和8年度 堤体工 125 百万円 令和9年度 付帯工 20 百万円  ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。  <b>⑥既整備内容・期間・事業費</b> ・該当なし				総事業費 300 百万円    工期 R6 ~ R9    基準年 R5 費用 263 百万円    便益 283 百万円 事業費用 191 百万円    災害防止効果 284 百万円 その他費用 72 百万円    維持管理費節減効果 -1 百万円 B/C 1.1 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。  <b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・災害に強い施設に改善する上で必要な整備量としている。 <b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・受益面積規模、事業対象工種から、防災重点農業用ため池緊急整備事業で対応することが妥当である。 <b>⑥環境負荷等への配慮</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・ため池は、生物の多様性の確保をはじめ多面的な機能を有する施設であることから、周辺環境との調和に配慮する。 <b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・早期着工の要望有り			
				<b>総合評価</b> <span style="float:right; border: 1px solid black; padding: 2px;">[貢献度ランク : a]</span>			
<b>(4) 事業位置図等</b> 							

2. 添付資料シート(1)



2. 添付資料シート (2)



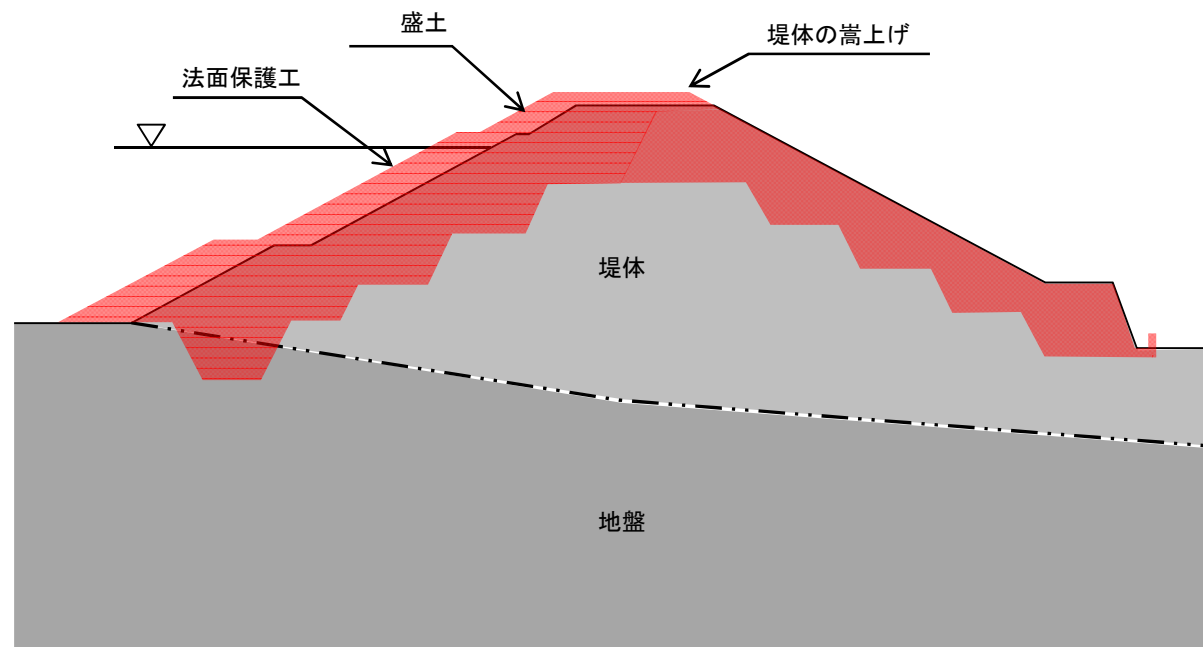
① 念場ため池 全景  
貯水量 13,000m<sup>3</sup>、堤高 H=5.8m



② ため池下流には人家があり、大規模地震の際には甚大な被害のおそれがあるため、早急に対策を講じる必要がある。



③ ため池下流の受益農地の状況



**耐震対策**

盛土(堤体の補強)  
→堤体の安定性確保

**豪雨対策**

・堤体の嵩上げ  
・洪水吐の改修  
→豪雨時の  
安全性向上

ため池の健全な機能の発揮